

令和 8 年

新 城 市 教 育 委 員 会

4 月 定 例 会 会 議 録

新 城 市 教 育 委 員 会

令和8年4月新城市教育委員会定例会会議録

1 日 時 4月20日(月) 午後2時30分から午後3時54分まで

2 場 所 新城市市役所本庁舎 4階 会議室4-1、4-2

3 出席委員

安形博教育長 伊藤雅朗教育長職務代理者 夏目みゆき教育委員

青山芳子教育委員 原田真弓教育委員 鈴木志保教育委員 夏目真治教育委員

4 説明のため出席した職員

原田教育部長 安井教育監 大藏教育政策課長

林学校教育指導室長 後藤学校給食課長 河口生涯共育課長

中村生涯共育課参事 浅井生涯共育課参事 湯浅歴史文化課長

5 書 記

上野教育政策課総務係長

6 議事日程

開 会

日程第1

(1) 令和8年2月開催定例会の会議録について

日程第2

(1) 教育長報告

日程第3

(1) 協議事項

ア 第33回全国山城サミットの事業方針について(歴史文化課)

日程第4

(1) 報告事項

ア 行事・出来事(4月、5月)について

閉 会

○職務代理者

ただいまから、令和8年4月新城市教育委員会定例会議を始めます。

日程第1 (1) 令和8年2月開催定例会の会議録について

○職務代理者

日程第1、令和8年2月開催会議録について、会議の内容についてご質問などがございましたらお願いいたします。

ないようでしたら、会議録についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○職務代理者

ありがとうございました。全員挙手ですので、会議録については承認といたします。

日程第2 (1) 教育長報告

○職務代理者

日程の第2、教育長報告。

教育長、よろしくお願いします。

○教育長

お願いします。

3月をもって退職された職員がいます。市役所職員で、途中退職して、仕事を変えて、新しい職場でっていうのはなかなか勇気があることだと思いますし、家族もお持ちですので、大きな決断だと思いました。彼とは3回ほどしか話をしたことがないんですけども、一つはコケの話、世界的な大発見を彼がしたということ。その彼が富山の自然科学博物館に勤務することになりました。先週、私が金沢で東海北陸の教育長会議があったので、水曜日朝早く出て、足を延ばして富山自然科学博物館へ行ってきました。彼とお会いできたのは、僅か2、3分だったんですけども、とても元気に仕事をされていました。大きい博物館ですので12人の学芸員がいらっしゃるとのこと。ですので、例えば保存だとか、あるいは研究調査だとか、展示だとか、そういったところに全精力を費やせる。新城の規模だとなかなかそうはいかなくて、学芸員と言いつつも、市の職員としての仕事をこなさなければいけない。彼が本当にやりたいこと、彼の希望に合致したのが、富山の自然科学博物館であったと思います。博物館を訪れてびっくりしました。その大きさ、入って、小雨がかなり降ってたんですけども、人は非常に少なかったです。20組ぐらい。そのうちのほとんどは親子連れでした。平日でしたので、小学生ではありません。お母さんと小さな子ども。お父さん、お母さんと小さな子ども。そういう感じの組み合わせでした。富山ってすごいところなんです。改めて感じました。ノーベル賞受賞者の部屋があったんです。田中耕一氏、利根川進氏、梶田隆章氏、本庶佑氏、4人、富山に関わるノーベル賞受賞者であります。その功績が書かれて、田中耕一氏がノーベル賞を受賞したのを記念して、多分教育委員会が考えたんでしょう。「ジュニア科学・とやま」というのを作ったんです。「ジュニア科学賞・とやま」。その4人のノーベル賞の横に、3人の顔写真が貼ってありました。小学校6年生の女の子と中1、中2の男の子。その小学生、中学生が、自分がやりたい研究を公表して、それが評価されて受賞につながっているということです。とてもいい試みだなと思って、新城でもできそうだと感じました。小中学生がもうその時点で自分の研究を表に出していく。博物館という皆さんが来るところで出していく。とても

意義があることだと思いました。

もう一つは、富山というと、北アルプスが3,000メートル、富山湾の水深が一番深いところで1,000メートルあるんですね。短い距離の中で、4,000メートルの違いがある。世界遺産と呼ばず、富山の方は地球遺産と呼んでます。そういう市に生まれ育った中で、文化が生まれてくるんでしょう。教育を大事にされて、学術的なものを大事にされている。そんな中で、我々も学ぶべきと思って、これはぜひ本市の外部施設を担当されてる方もアイデアとして取り入れていただきたいのが、今親子がたくさん訪れると言いました。親子で訪れるのが一つのキーで、愛知県はラーケーションやってますよね。僕はラーケーション、あまり賛成ではないんですけども、でもやっている以上は子どもたちにとって何か有益なことはないかっていうことで、この新城の外部施設を親子対象に学べる、学校外で学べる、そういう施設にしていこう。そして例えば自然科学博物館。でもその知名度はそれほど高くないです。知らない子どもがたくさんいます。それは新城の子どもだけじゃなくて、愛知県じゅうの子どもに枠を広げていろいろなことを発信していくと、もっともっと多くの子どもがいろいろな経験ができる。

以上、2点、富山の自然科学博物館から、私が学んだことです。ぜひ参考にしてみてください。ぜひ柔軟に考えて対応していただけるとありがたいと思います。終わります。

○職務代理者

ただいまの教育長報告について、ご質問はございますか。
よろしいですか。

日程第3 (1) 協議事項

○職務代理者

それでは、日程の第3、協議事項に移ります。

アの第3 3回全国山城サミットの事業方針について、事務局から説明をお願いいたします。

○歴史文化課

それでは、13、14ページをご覧ください。

教育委員会では、この11月下旬に、第3 3回全国山城サミット新城大会を計画しております。今年度、新城城ができて450年という大きな節目になります。それに伴いまして、新城城は山城ではないんですけれども、せっかくこういう機会がございますので、新城市も加盟しております山城サミットをお招きして、ここで大勢の人たちに新城のことを知っていただきたい。それから新城市民の皆様方にも、新城のよさを知っていただける機会を作り出したいと思ひまして、計画をさせていただきました。

新城にございます山城、加盟しておりますのは作手の亀山城になります。そこが一応加盟しているところにはなるんですけれども、そういったつながりがございましたので、本年度、この山城サミットを新城市で開催いたしたいと思ひしております。

それで、大きな内容といたしましては、シンポジウムの開催、それからブースの出展、城跡案内というふうに、一応大きく分けさせていただきました。シンポジウムは11月の28日の土曜日、新城文化会館の大ホールで実施したいというふうに考えております。

基調講演といたしまして、小和田哲男先生によるご講演「三遠南信の戦国時代 今川・武田・徳川の戦い」、この戦いの結果、新城が生まれましたよってというような形になってくるかと思ひますので、その前段のほうのお話を、小和田先生に基調講演として、していただきたいというふうに考えております。

それから、シンポジウムとありますが、千田先生と平山先生のお二人による対談っていう形になろうかというふうに考えております。「東三河の山城」ということで、こちらのほうで山城サミットに直結するようなお話をさせていただこうというふうに思っております。

先ほど申し上げましたように、作手にございます亀山城、それから古宮城、それから長篠城、宇利城といった、権利や国の文化財に指定されてるようなお城はたくさんございますが、それ以外にも今地域の方々が一生懸命お城の整備をされております。例えば野田にあります大野田城、野田城、それから山吉田にある柿本城なんかがそうなんですけれども、そういったところも、恐らくこの話題の中で出てくるのではないかなというふうに考えております。

それから、講演、今、2本計画しております。1本目、この講演は翌日29日を予定しております。1本目が柴裕之先生、この方は今、大河ドラマ、豊臣兄弟の時代考証をやっておられる方です。去年、戦国サミットの中でも、8月のプレ講座として、鳳来支所でお話をいただいておりますが、この方に奥平のことをお話しさせていただこうというふうに計画しております。

それから、もう一方、ちょっとこれは未定ですけれども、新城に関わることをちょっとお話しさせていただこうというふうに考えております。

それから、2番目のブース出展ですが、全国の山城サミット連絡協議会という会がございまして、そちらのほうにお声がけをさせていただいて、ブース出展を新城文化会館のほうで行いたいと思っております。

それから、昨年度参加していただきました戦国博覧会に出展していただいた皆様方にもお声がけをさせていただいて、山城サミットには加盟してないけど、この地域の方々、地域の団体の方々にもご出展の機会を持ってもらいたいというふうに考えております。

それから、3番目、城跡案内といたしまして、これも2日目の午前中朝になるんですけれども、長篠城、それから古宮城と亀山城、新城城、3本のコースを今考えております。実際に、現地を見ていただくということも、やっぱり山城の関係者、お城の関係者は非常に大切にしておりますので、地域の方々、ボランティアガイドさんたちにもお願いをしながら、お城跡の案内をしていただきたいというふうに考えております。

2枚目のほうに、具体的なタイムスケジュールが入れてございます。28日の午前中に山城サミット連絡協議会の総会が済んだ後、オープニング式典、それからオープニングのアクト、講演ですね、そういったものの実施を考えております。

それから、2日目のほうは午前中に、先ほど申し上げたようにお城の探訪ツアー、ブース出展、それからキッチンカーなど、それから10時から10時40分まで、奥三河音楽連盟による音楽祭を予定しております。それから、13時から13時10分と15時40分から16時まで、これは火縄銃の演武を一応予定しておりますが、警察のほうの許可が下りておりませんので、これを入れないなということで進めております。現段階で、こういった形で山城サミットを開催したいというふうに考えております。今の原案として、これが案となっております、まだ委員の方々にこういったことはどうかとか、そういったアドバイス、それからご意見等があれば伺いしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○職務代理者

ただいまの説明について、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

○教育長

昨年の9月15日、16日、白山市に、部長と私と歴史文化課長はじめ事務局の職員で行ってきました。

1日目の夜にホテルで懇親会があったんです。次期開催地の私に振られたんです。そのときに言った言葉

が「白山市、二千何百万かかけて、この会をやっていますが、新城は予算全くないので縮小します」と。じゃあそれに代わるものとして、帰り道で考えてきた。代わるものは、人しかないと思って、人がたくさん集まる、そういう山城サミットにしたいと。人を集められるとしたら、外からの人はもちろんなんだけれども、新城の人を集める。この中でいうと、例えばオープニングアクトの長篠陣太鼓、これはかなり魅力あると思います。そして小中学生の、ここには劇って書いてあるけど、僕は劇である必要はないと思っている。例えばプレゼン、例えば調査、例えば研究の発表、いろいろなバージョンが考えられるんだけど、そういうことを4月末までに教育監に、もし希望者がいたら申し出てほしい。申し出ありましたか。

○教育監

ないです。

○教育長

まだない。4月末まで。そういうところで、申し出がないような学校は魅力がない。子どもが全国に発信できる、そういうチャンスがあるのに。

2日目に、新城の音楽連盟の方が出ます。この前、音楽連盟の先生に話したのは、普通の音楽じゃなくてステージが壊れるぐらい、ステージの上に人が乗ればいいと。そのぐらい新城を盛り上げたい、そういう思いの方がいらっしゃって、それでコンサートを行っていただければ、どんな内容でも構いませんと伝えました。私たちがあまりふだん気づかないんですが、ボランティアの方がたくさんいらっしゃる。ボランティアの方がこのときに、今まで蓄えたものを発揮できるような機会を、ぜひ確保したいと思ってます。いずれも新城の市民から、内側から外に出す、この内発的な会にしなければいけないと思います。誰々講師を呼んできた。どこかから呼んできた。偉い人を連れてきた。だから人が集まるんじゃなくて、新城市民の心が動かないと、28、29日、やる意味はないと思います。そういった観点から、教育委員の皆さんにご意見をいただければ、とてもありがたいということです。

以上、補足です。

○職務代理者

広報「ほのか」を見ると、325万7,000円の予算がついています。この全国の山城サミットへの期待が膨らんでいると思います。3つ質問します。

1点目は、全国山城サミットには、どちらの県から参加されますか。参加人数はどのくらいを予定されているのか教えてください。

2点目は、開催日が2日間ということで、かなりの多くの人が宿泊をされる可能性があります。宿泊地の確保はどのようにされていこうとしているのか。

3点目は、今、出演を、小中学校にどのように依頼をしてあるのか。やはり全国から集まっているので、市内の小中学校の子どもたちが、この機会に全国に発信する魅力的なサミットであることを、どのように各学校にアピールしていくのかを教えてください。

○歴史文化課

まず、どこからということですが、恐らく全国山城サミットの、私も去年だけではなくて、何回か出ておまして、その中で印象に残ってる市町村は、福島のところからお見えになってる団体さんがここ二、三年続けてお見えになって、たしか町だったと思うんですが、近い将来、山城サミットを開催したいという気持ちもあって、いつも総会に10人ぐらい連れて来てるぐらい、一生懸命やってるところもあります。

昨年が石川県で、その前が島根県、その前が兵庫県と割とその西日本を中心にやっています。やはりその

山城サミットに関しては、皆さん方、地元の山城をPRするいい機会だっというふうに考えておられるので、いわゆる山城サミット連絡協議会の中では割と遠方からお見えになってるという印象はすごく強いです。

今回、新城自身が日本の中心ある地域になりますので、まだちょっと蓋開けてみないと分かんないですけども、恐らく、これまでの開催地に比べると来やすい場所になるかと思いますので、今まで来なかった中部地域の自治体の皆さん方もお見えになるし、それからよそからも割と来るのではないかなっというふうに思っております。それであと、何人ぐらい来るかっていうのが、やっぱりこちょっと蓋開けてみないと分かんない部分あるんですけども、昨年行いました戦国博覧会が2,900人でしたので、このときは非常にたくさんの講座をやったってことがあります。今回、講座の本数は多少少ないんですけども、それに匹敵するぐらい、2,900ではなくて3,000とか3,500を目指して、大勢の方に来ていただけるように周知のほうを図っていきたいというふうに思っております。

それから、宿泊ですけども、昨年やったときも、特に宿泊での場所が取れないよというトラブルはあまりなかったんですが、やはり新城で行う行事ですので、できるだけ新城に泊まっていたきたいというふうに思います。近くはルートインとか、それから新城観光ホテル等もございますし、湯谷温泉、少し離れるんですけども、せっかくここまで来たのであれば、新城の温泉も味わっていたきたいというふうに思っておりますので、観光課とか観光協会とも連携をしながら、上手にその辺り、新城にたくさんの方が泊まっていけるような案内をしていきたいというふうに思っております。

それから、アピールできるもの、また学校のほうからまだご返事がないということなんで、まだまだちょっと私たちのアピールが足りないのかなっというふうには思っています。もう取りあえず出てくれるところは一生懸命こちらのほうもどういった形でご参加いただけるかっていうのを考えながらやっていきたいと思ひますし、ちょっと私たちは想定外だったのが、最近その学習発表会っていうのをどうも学校の中でやられていないっていう、学習劇か、劇みたいなことを最近やられてないっていう話をちらっと伺ったこともありました。私たちの経験だと、学校で学習発表会で劇をやってるっていうイメージがすごく強かったんで、ですのでちょっと私もこの中に劇っていうふうにかかせてもらったんですけども、そういう状況であれば、先ほど教育長がおっしゃられたとおり、劇にこだわらずにっていうところもあるかと思ひますので、ですのでその辺りはもうちょっと先生方に取り組みやすいようお願いの仕方があるのかなというのをちょっと思っております。

○職務代理者

観光協会になるべく早く日程をお知らせし、ホテルやいろんな施設に発信をしていくということが大事だと思います。また、東郷東小学校のように、歴史劇を伝統的にやっている学校では、良い劇ができてと思うので、声をかけながら進めていくと良いと思ひます。

ほかに教育委員の皆さん、いかがですか。

○教育委員

2点、提案をさせていただきたいと思うのですが、11月29日のところで、講演会がまだ未定という欄がございます。そこでぜひ、新城には能と狂言という、宝のような伝統芸能がありますので、ぜひこれを組み込んでいただくのもいいのではないかなと思ひます。

それから、宿泊のことなんですけれども、最近ルートインは、結構な予約がいつもいっぱいだというようなうわさを聞いております。できましたら、今、湯谷温泉がちょっと元気がないといううわさもありますので、これを機会にですね、ぜひ盛り立ててというか、多くの方にアピールできるようにしていただく

のがいいのかなと思いますので、その2点をぜひお願いしたいと思います。

○職務代理者

山城というキーワードにそぐわないかもしれないけども、新城の能、あるいは子どもの狂言は、歴史的にもアピールできるものなので、ぜひそういうのをうまく組み込んでいけると良いと思います。

○教育委員

それでは一つ、質問なんですけれど、実際に多くの市民をつてなると、ある程度この山城だとか、新城城の簡易マップというか、開府450年の、あまり関係ないようなところで、自分の周りでそういうことが行われていることを本当に知らないような方たちも、多くの人に参加できるつてなると、どんな参加の仕方ができるのかなって、やっぱり考えると思うんです。そうなると、自分がやれることでつてなると、やはりお迎えするとか、それを知ってもらふとなると、新城の魅力を伝えるつてことと、それから自分が何かできるおもてなしをすることによってということになるのかななんて思うんですけど、そういうような参加の仕方つていうことでもよろしいということと考えればいいんでしょうか。その辺教えてください。お願いします。

○歴史文化課

やはり行政だけがやるとか、お城とか歴史が好きな人がやるつていうことだと、もうそれだけで関心がある人というのがどうしても限られてしまいます。それで今、ボランティアガイドさんたちが一生懸命、あの長篠城やそれから柿本城とかいろんなところで活動しておられますが、やはりこういった方々は生涯学習の一つとして、お客様たちと接してお話をするつていうことを楽しみとしてやっておられておりますので、ですのでそれぞれその人の楽しみ方つていうのはいろいろな形があるかと思います。やはり地元の方で、今、埼玉県のほうの方と連携を取って、亀姫つながりでいろんなことをやっておられる方もおられて、そういった方々も、歴史には関心があるんですけども、やっぱりそういった亀姫つながりでつていうところを一生懸命やっておられる方もおられますので、決してその歴史とかそういったところで区切るんでは、まあ歴史は多分話としては中心になってくると思うんですけども、そこだけでなくいろんな関わり方があるのかなというふうに逆に思いますので、そういったところはまたいろんな方のご意見聞きながら取り入れていけたらというふうに思っております。

○教育委員

ありがとうございます。新城には、それこそいろんなボランティア団体もありますけれど、自分の好きな趣味を生かして、小さな端切れを組み合わせせて絵を作ったりだとか、裂き織りみたいなので何か物を作ったりだとか、そういうような団体みたいなのがいろんなところにあると思いますし、先ほど言われたかみゆ様というか、ひな祭りとかに関係あるようなところで、つるし雛を作ってる団体があるとかって、そういうことで自分たちがやれることで、その会場をおもてなしして飾るとかによってということもできるのかなとも、そういう参加の仕方というのもできるかと思うので、そのことが提案できたらと考えました。お願いします。

○教育委員

オープニングアクトのことです。小中学生による何らかの発表ですが、先ほど委員が言われていた東郷中学校や東郷東小学校がやっている活動等もありだと思います。他にも、鳳来中部小学校の歴史ガイドにも声かけも良いと思います。山城サミットのために改めて企画をすることは、学校現場にとって難しいかもしれませんが、ですから、地道に取り組んでいる学校の子どもの発表の場として参加してもらえると良いと思いました。

○教育長

今のことに関わって、昨年「みがく」での鳳来中部小学校の6年生の授業のことです。〇〇先生がやられた授業は、すばらしい授業で、最後に男の子が発言した内容が「もっと意見が言いたかったです」で終わったんですね。45分ずっと意見を言い続けた授業なんだけれども、その45分たったときに、男の子がもっと意見が言いたかった。言う機会なんですよ。つなげば幾らでも出てくる。先ほどの能でも歌舞伎でも狂言でも幾らでも出てくるので、その辺りを、我々大人がどう子どもにつなげるかというところが勝負だと思いますので、これ歴史文化課に任せるのではなくて、学校教育指導室含めて、この上のつなぎ方を大事にしてもらえたらと思います。少なくとも40年、50年に1回なので、これを逃がしたらだめだというぐらいのつもりでやっていただけたらと思います。もちろん中心になるのは歴史文化課で、この中心の力がないと絶対いいものができませんから、よろしくお願いします。

○教育委員

そうですね、劇や、確かに中部小学校の歴史ガイドも、本当に自分たちで調べて、クイズを作ったり3択にしたり、毎回のぼり祭りですごく盛り上がるイベントではありますので、ぜひそういった発表の場を設けてあげるといいなと思ったのと、あとそういった具体的に歴史に関したことをやってない学校でも、例えばお土産パックに何か折り紙のものとか、ブックマークとか、そういう子どもが作ったプレゼントを1つ差し込むだけでも、それに関わった学校が増えるかなってちょっと感じました。

それと、全体の予定を見て、新城で5時10分に閉会して、その後は皆さんどうやって過ごされるかなと思ひまして。恐らく28日に宿泊されて、29日も参加されますよね。そうすると、5時10分で終わって、新城でほかにどうやって過ごされるのかなと、ふと思ひましたので、何かここで、夕方以降のプログラムみたいなのもオプションであったりすると、丸々と新城を楽しんでいただくような、パート2があると良いなと。旅行すると、その場所であるべく時間を埋めようと思うじゃないですか。もう少し本当に確かに山城なんですけど、新城色のあるアラカルトがあってもいいのかなと、ふと思ひました。

○職務代理者

教育委員会でこの後のオプションを計画することは、大変なことだと思います。市の観光課でオプションを作ってもらって、新城のよさがアピールできるツアーができるといいかもしれませんね。

○教育長

これも部長との帰りの車の中で話したことなんだけど、これ結局泊まるところが豊橋のホテル、豊川のホテル、人はかなり来ますので、泊まるところを求めるときにないんですよ。ルートインは設楽ダムで使っている。桜淵か、湯谷温泉。豊橋、豊川へ流れるんですよ。そこを食い止めるような戦略も必要ですよ。恐らく7月までに何らかの形で伝わらないと、11月の宿泊予約ができないと思います。ちなみに去年は集まった方が140、150人でしたかね。

○職務代理者

例えば、新城観光ホテルに参加される方が集まり、地酒を紹介するなどのパーティ形式も、一つの方法かもしれませんね。

○教育委員

私、山城マニアなんですけど、去年の石川県のその前の島根県の内容はよく存じております。まずイベントのプロとして言わせていただくと、こういうイベント、全国を目的として大きいイベントって「何のために、誰のためにやるイベントなのか」というのをはっきりしないと、まず失敗するんで、そのターゲット

トというのがはっきりしてないと、全国の山城、私みたいな山城マニアの人を対象にやるためのイベントなのか、それとも市民を盛り上げる、奮い立たせたいイベントなのか、その辺をしっかりとっておかないと、万人に受けようとか、みんなに楽しんでもらおうっていう、こういうちょっとマニアックなイベントって、絶対失敗するので、そこの芯をしっかりと筋立てして、内容を考えないと、あれもいいじゃん、これもいいじゃん、じゃあこっちもこっちもっていうほう、幕の内弁当的なことにしちゃうと、まず100%失敗するイベントです。誰かが置いてきぼりくったり、誰かが声かけられてないって怒ったり、あんなとこ二度と行かなくなってたり、揉め事のもとになる。大きい規模のイベントになればなるほど失敗のもとになって、まず誰のために、何のためにやるのか。特に、誰をターゲットにやるのかっていうのをしっかりと、はっきりさせた上で内容を組み込んでいったほうがいいのかなと思います。

例えば市民を盛り上げたい、市民を奮い立たせたいっていうイベントにするのであれば、さっき言われてたみたいに、市内の小中学生とか市民の方とかそういった方に参加してもらいイベントっていうのも、もうオールオーケーだと思う。ちなみに日にち公開されてますよね。もう既に、豊橋、豊川のほうでいろいろ予約されてる方たちがいます。終わったら、一回豊橋帰って、吉田城とかいろいろあるので、そしてまた翌日、新城っていう予定をされてる方たちがSNSを見てると何人かいらっしゃいます。さっき湯谷温泉って話されましたけど、多分この週の月曜日、祝日、もみじまつりのメインイベントなので、下手すると一番湯谷温泉がにぎやかになる時期とバッティングしますよね。っていうのも全部考えて、イベント内容をちゃんと組んでいかないと、全国から来る皆さんって、何を楽しみにしてるかっていうと、やっぱり地元の方と話したいんですよ。その山城があった地域の人って、そこに詳しくたりする人が多いので、特に長老級の方たちは、そんなことあったのっていう逸話とかすごく面白い話をたくさん持っていたりするので、そういう人たちの話を聞きたいんですよ。もちろん今予定されてる小和田先生とか平山先生とかの話なんかはよだれものですけど、そういう「誰に向けた、何のためのイベントか」っていうのははっきりした上で、イベントの内容とか、やるイベントの内容をちゃんと入れていってあげないと、せっかく全国山城サミットっていう大きいイベントが来るのに、すごく残念なイベントになっちゃうだろうなと思います。

○歴史文化課

そうですね。今どちらかといえば、いろんな人たちをターゲットにするっていう、おっしゃられるように、いろんな人にはまるような感じで考えていて、例えばただ内容として、全体を見るといろんな人にはまるような感じなんですけれども、例えばその講演会なんかは歴史の好きな方々にはまるっていうところがあると思いますし、それからお城ツアーなんかはやっぱりそれこそそちらのほうがもっと本当にコアな人たちにはまる内容になるかなっていうふうに思ってます。

それから逆に、キッチンカーとかブース出展のようなものは、歴史が好きな人っていうよりも、そういうお城に関心を持ってる人がそこでいろんな市町村のお城の状況を知るっていうところで、講演会聞くとかよりももうちょっとライトな人たちが来れるのかなっていうふうに思います。

それから、市民にとってみればそういったところも楽しみの一つであろうし、それからあとその音楽会にしても、オープニングのアクトにしても、やはり市民の例えば友達が出る、家族が出るっていう人たちもいれば、せっかくやるなら聞き行こうよっていう人たちもいると思いますので、どちらかといえば、全体としてはいろんな方をターゲットにしています。ただポイントポイントでは、ちょっとそのある程度絞れてるのかなっていうふうに思っていますけれども、おっしゃられたところも十分にわかりますので、ですがその辺りをまたちょっと調整をしながら、ターゲットを少し絞り込んだりっていうところをしていけたらなという

ふうに思います。

○職務代理者

山城サミットなので、全国から本当のマニアの方が来られるからこそ、その人たちに満足できるような、そういう内容にしてほしいなと思います。

○教育委員

すいません、もう一つなんですけど、先ほどその小中学生にも関わってもらおうという話だったんですけど、例えば私、出身が千郷なので、実家は野田城址の麓にあるので、小学校入った頃から野田の戦いのことはずっと学んできましたし、うちの子どもたちは東郷東学区なので、こども園にいるときから長篠・設楽原の戦いについて、中学卒業するまでずっと毎年教育を受けてきてたんですけど、今、特にコロナ禍を挟んで、各学校でのそういう地元の歴史の教育状況というのはどうなってるんですかね。それこそ歴史資料館行って、要はその勉強をずっと受けてきて、本当に教科書がなくても、長篠・設楽原の戦いのことだったら全員しゃべれるという状況に、うちの子どもたちの代はなってたんですけど、今学校現場はどうなってますか。

○職務代理者

「三宝」というぐらいですからね。学校現場でどのように教えているのか、教育監、いかがですか。

○教育監

すいません、正直なところ、細かいところは把握できてないので、また一度聞いてみたいと思います。

○学校教育指導室長

コロナ禍を明けてから、ちょっと縮減していきたいなという動きがあります。自分、前の前が東郷中学校だったんですけども、長篠の戦いのイベントのときに出るかっていったときに、東郷中学校は引いてしまったっていうところもあるので、ちょっとコロナ禍を明けてからちょっと下火になっていると思います。

○教育委員

逆に、資料館の小中学生の見学がないのはどういうことですか。

○歴史文化課

長篠城と設楽原、2日間あるので、全ての学校が両方に行ってるっていうわけではなくて、やはりどちらに行ってるっていうような格好になるかと思います。校外学習のほうは各学校さん、皆さん積極的に来てくださってると思います。やはり6年生になると、必ず歴史の勉強で地域のことをやっておられるものから、そうすると教室の中で本を読むよりも、せっかく近くにあるのであれば、現場を見て、ここに家康がいたのかとか、ここからこう打ったんだよねっていうところを見ていただくと、子どもたちも馬防柵に、こっちは駄目だよって言うても上ろうとするぐらい元気よく楽しんでますので、ですのでそういったところはコロナ前であっても、コロナが終わった後でも、あんまり来る子どもたちの数とか学校の数っていうのはそんなに大きくは変化してないのかなというふうに思っています。

○教育委員

歴史学習をするにあたって、身近な地域の歴史について学ぶことはしていると思います。東郷学区とか鳳来中部学区では、長篠・設楽原の戦いに対する力の入れ方は強いと思います。

○職務代理者

このサミットを機会に子どもたちの目が地元の歴史、山城に向いていく良いきっかけだなと思います。さらに、もう一步、この開催に向けて、地域のなかにはいろいろと詳しいボランティアの方がいっぱいいます。そういう人たちを掘り起こして関わらせていく。例えば、古宮城のスペシャリストって言えば、元教育委員

の先生がいます。そのような方が、案内人として参加していただけるということなら、訪れる人たちにも喜ばれると思います。課長が3つのコースを行けるわけではないので、そういう人たちに依頼することも大事じゃないかなと思います。

○教育委員

いつもイベントがあるとき、のぼり旗を掲げますが、そのような予定はあるのでしょうか。

○歴史文化課

はい。ポスター、チラシと同時にのぼり旗のほうも、今順次準備をしていっております。

○教育委員

順次といいますと、いつ頃完成の予定ですか。

○歴史文化課

ちょっとまだデザイン等も取りかかってはいないんですけれども、一応11月の開催なんで、夏休みぐらいをめどには思っております。

○教育委員

ちょっと遅いんじゃないかなという感じがしております。今までいろいろイベントを見てみますと、ちまたのうわさでは、遅いよね、今頃のぼり旗なの？と、みんなが口々に言っておりましたので、これからデザインをといいますと、もうこれ11月のことですよね。できましたら、もう本当にひらめいていてもおかしくはない状況だと思いますので。

○歴史文化課

分かりました。早めに対処するようにしていきます。

○教育委員

秋のアジア競技大会があるので、重なっちゃうのじゃないですか。その辺は。

さっきの校区别の歴史の話じゃないですけど、新城市内、広いので、地元の校区の人たちや子どもたちって、愛着があるという言い方おかしいですけど、すごくその歴史について学んでいる。作手なら亀山城址ありますし、長篠城とか、設楽原、野田城。全然関係ない校区の人たちや子どもたちは、やっぱりあんまり知らないんです。聞いてみると、ああそうなのっていう感じなので、もったいなくて。

特にこの長篠・設楽原っていうのが、教科書に載るぐらいすごいというのは分かっているけど、全国の城好きとか歴史好きの人たちにとってすごいところなんだっていうのを、市民が知らなさ過ぎるのと、ここ数年で思っています。全国の山城を訪れて、資料館がついてる城とかあるんですけど、1人でいると、どちらから来られたんですかってよく聞かれます。長篠城下ですってふざけて言うと、皆さんすごい驚かれて、そんなところにお住まいなんですかって、必ず言われるんです。それぐらいすごいところだぞ、すごい町なんだぞっていうのを身近過ぎてなのかな、みんな知らないのかな。今回はいい機会ではあるかなって思います。

○職務代理者

文殊山にも山城がありますが、市内にどのくらいの山城があるのですか。

○歴史文化課

ちょっと山城のくくりで数えたことないもんですからあれですけど、いわゆる高低差があるところってということになりますので、ですので一番新城として山城サミットの加盟してるところは亀山城が入ってます。逆に、長篠城や古宮城は山城ではないので、文殊山とか、それから塞之神のお城は山城になります。でするので、ちょっとその辺りは新城にはいろんな種類のお城があるよっていうところは一つ大きな特徴なのか

なとは思いますが。

○職務代理者

新城にある山城をパネルにして展示していくのも一つの方法だと思います。

○教育委員

先ほど、委員さんからスケジュールの進捗状況が遅いのではないかという指摘がありました。私もそう思っています。今後よりよく進めていくためのタイムスケジュールを、見直した方がいいと思います。

それともう1つ、お城探訪ツアーがありますが、何人ぐらいの規模か、コース案内人はだれか、バスに何人乗れるのか、添乗員はだれかといった具体案はできていますか。

○歴史文化課

今考えておりますのは、市役所で持っているバスに乗って行っていただくというふうには思っているんですけど、20人とか30人ぐらいっていう格好になってしまうので、ですのでその辺りは、後はもう現地集合っていうようなことも一方でやっていかないと収容しきれないのかなっていうふうには思っています。それで、まだ今の段階では1本だけ、1回行っておしまいっていうふうな感じなんですけれども、この後また、先ほどおっしゃられた地域のボランティアの方々ともちょっとお話をして、例えば午前と午後で1本できないかとか、その辺りはまたちょっとお話をしながらというふうには思っております。

○教育委員

そうするともう、簡単に言うと、まだはっきりこれでいきますっていうのはないってことですよね。

○歴史文化課

そうですね。今このスケジューリングで、今は進めていますっていう格好で、この後またそういったいろんな方がいろんなことをおっしゃっていただけるとするものですから、そうした中でこれでは足りないぞとか、これだけやればいいたろうっていう話の中で、私たちもちょっと考えをもう一回巡らさないといけないかなっていうふうには思ってます。

○教育長

つまり、今、委員が言われたのは、絵が見えないんですよ。例えば長篠城に探訪ツアーで行く。そのときに収容台数がどのぐらいあって、例えば鳳来ふれあいパークに車止めて、そこからシャトルバスが出るのかとか、そういうことが一切分からない。これを明確にしきちっと情報共有できないと、意見は出ないんですよ。だからさっきも私が言った歴史文化課がその真ん中を作らないといろいろなところに相談しても駄目だと思うんです。そこを求めるっていうことで、これもこの4月、5月、6月の教育委員会議でやり切らないと絶対失敗します。いいものはできないと思います。昨年の戦国博覧会並み、それでは誘致した、税金も導入した意味合いがないっていうことですよ。全国に呼びかけて、全国から山城ファンが集まる。新城に来てよかった。新城市民として参加してよかった。そういう思いを抱けるような中心部を作っていくっていうことが歴史文化課の課題だと思います。

○職務代理者

この山城サミットに、3,000人近くの人に参加します。単純に割って、1,000人はこのコースに参加する可能性があります。作手にどのように行くか等、具体的な計画を立案をしていただいて、教育委員会全体でそれを進めていくスタンスでよろしいかと思います。早急に計画を具体的な形で示していただけるとありがたいです。

○教育委員

参考までに。実は山城を愛する人たちっていうのは、委員のいう、本当に熱く語る方がいらっちゃって、うちの店にもそのツアーの方が実は何度かいらっちゃってます。幾つかの団体です。そういう方たちというのは1時間の食事の時間の間に、もう15分か20分ぐらいでばっと食べてしまって、飛び出されて行くんです。本当にびっくりで、大体皆さん運動靴を履いていらっしゃいます。「すいません、新城城の跡はどこですか」とか、宗堅寺とかいろいろ聞かれるんです。この辺のお寺はお城には直接関係ないようでも、やっぱり歴史的な、非常に深い意味のあるところがたくさんありますので、いらっしゃるお客様のほうがよくご存じで「ここから歩いて5分ですよ」、「5分圏内で宗堅寺も永住寺も、亀姫様のお墓のある大善寺も、全部行けますよ」という話をする、全部回れそうだって行くんですね。すごいところに住んでるんだなあということを思います。山城というか、そういう歴史を愛する人たちがいらっしゃるということを本当に真に受け止めて、私は今、課長さんがすごくいろいろなことで責任を感じながら、頭いっぱいだと思うんですけど、非常に能力の高い方だと思いますし、もう新城で右に出る方はいらっしゃらないと思いますので、いろんな方の意見を聞くっていうことはすごく大切だと思いますけれども、ほぼ大体出尽くしていると思いますので、課長さんがもう絶対これで間違いなからこれでやろうっていう感じで言っていけば、誰も反対しないと思います。もうそれですぐ動いていていただいて、なるべく早く、はたひらめくのを楽しみにしております。よろしくお願いします。

日程第4 (1) 報告事項

○職務代理者

それでは次に、日程第4、報告事項に移ります。

それでは、アの行事・出来事について、報告事項のある事務局のみ、説明をお願いいたします。

○生涯共育課

新城図書館ですけれども、22ページですね、50歳以上の高齢女性の方を対象に、毎日の動きが楽になるような、そんな運動をということで、「チビボールを使って楽しく動いて健康づくり」という講座を開催いたします。5月11日、5月25日、6月8日と3回通して開催させていただきたいと思います。ふだんちょっと体の調子がという、50歳以上になるとそういった部分が出てきますけれども、そういう方に運動というか、動き方のコツみたいなものをお伝えして、毎日の動きが楽になるようにということで講座を開催いたしますので、よろしくお願いいたします。以上です。

○生涯共育課

鳳来寺山自然科学博物館からお願いします。25ページから27ページをご覧ください。

令和6年9月から配布しております鳳来寺山博物館カードが全100種類となりました。この4月1日から入館された方に、第1弾から第3弾まで全100種類の中からランダムに1枚カードを配布しています。

また、カードをたくさん集めていただくための収録台帳を作成しました。カードをたくさん集めた方には集めた枚数に応じて記念品を差し上げております。

続いて、28ページをご覧ください。5月4日に、博物館にて春のミュージアムフェスティバルを開催いたします。続いて、29ページから30ページをご覧ください。5月10日に、野外学習会「宇連川沿いの春の植物」を開催します。続いて、31ページから32ページをご覧ください。5月17日に、桜淵公園の川原で、ジオツアー「川原の石の観察会」を開催します。最後に、本日お手元に、令和8年度の年間行事案

内と、館報第55号を配布させていただきましたので、ご覧いただけると幸いです。以上です。

○職務代理者

鳳来寺山自然科学博物館のイベントは、非常に工夫があり、面白い企画ですので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

それから、教育政策課に質問ですけども、質問というより付け加えなんですけども、5月8日、金曜日、このときに市町村教育委員会連合会、第1回の理事会が長久手であるので、そういう教育委員会に関わることは書いといたほうがいいかなと思いますので。

○教育政策課

分かりました。

○職務代理者

5月8日、第1回理事会、連合会がございますので、記入をお願いいたします。

最後になりますが、今日の議題、あるいはその他にご質問、ご意見がある方はお見えになりますか。

○教育委員

長くなってもいいですか。2つお伺いしたくて、1つは、新城中学校が複数で担任を今期からされてるとお伺いして、代わりばんこってというのはどういうイメージなのかなということをお伺いしたくて、どうやら聞くと7月は、例えば理科を3人の先生で順番にやるのか、それともどんどん増えていく姿勢なのか、その辺お伺いしたくて。実際、お子さんもちょっとどんな様子でやってるのかっていう説明ができないですか。

○職務代理者

理科の教員ですか。

○教育委員

いや、担任です。担任の先生が複数で回られるってということをお伺いして、新城中学校。それがまず1つ。

あと、以前、委員が説明をされたエプロンの香害。またこのところ結構新聞等でも取り上げられてて、千郷がもう個人のエプロンになりましたか。あれはちょっと新城にばらつきがあるので、今後どういうふうな動きになっていくかなというのをお伺いしたくて、その2点、お願いします。

○学校教育指導室

新城中学校のチーム担任制は、その月によって変わっていくような感じで、多分2年生と3年生が行ってと思います。新城中学校は。4月は理科の教員と国語の教員が入り、5月になると理科と英語の教員が入りっていう形で、すぐ替わるじゃなくて、月ごと、1か月ごと替わっていくような感じで、大きな節目の行事と保護者会のところはできるだけ続けて、ころころ変わっていくと、行事も学級づくりが大変というところと、保護者会に向けても2か月連続見たりとかしたほうがいいんじゃないかというところで、そういったローテーションの組み方をして、多くの教員で子どもたちを見ていくというような形で取り組んでいます。

それは2年生も基本同じなんですが、2年生のほうはちょうど育休を取られている先生がいるところもあって、ちょっと教員の数足りなかったりするところで、2年生はチーム担任制を組んでやっていこうということで、行っております。

○教育長

導入されたのは何年度ですか。

○学校教育指導室

今年度。

○職務代理者

以前、八名中学校でツーハート担任制があり、2名の担任がいました。新城中学校で担任が固定してない。そういうシステムに対して、新城中学校の教頭先生をやられていた室長は、どのように思いますか。

○学校教育指導室

そうですね。今3年生の学年に対しては、担任が全く替わらずに3年間持ち上がるようになって、できればそこに1人、できれば若い2人でやるので、1人ベテランの教員を配置して、進路も関わってくるので、進路指導の経験も入れながら、子どもたちの進路相談とか教育相談とかにきちっと配慮していこうということで考えていったので、自分もたたき台を考えて1人でやるので、今の3年生にはそれがいいかなというふうで、またちょっと話をしながら、子どもたちのためにもこのシステムのほうがいいんじゃないかということで賛成をして、本年度から導入をしているような形になっています。

○職務代理者

子どもからすると、担任がやっぱり一番身近な存在です。担任に相談できるとか、あるいは担任が直に子どもを見るというメリットはすごくあると思います。今後、このシステムが本当にいいのかどうか検証してほしいと思います。2点目の質問はいかがですか。

○学校教育指導室

エプロンの香害については、いろんな保護者の方からも意見が出ております。学校によって様々な取組が行われてると思うんですけども、多分全体的にそういった意見を受けて、やっぱり導入していくのであれば、基本エプロンも袖があったり、いろいろな指定があるので、調理実習みたいな簡単なエプロンではなくて、給食が使うエプロンのほうを、また参考案として、カタログとかでこういったものを購入してくださいというような取組を言ってる学校もあれば、そういったことを言うてくるご家庭が少ない学校は、別の予備のエプロンを用意して、その子用にエプロンを渡してっていうところで対応を今しているところで、全体として、統一してっていう動きは今のところはないんですけども、学校ごとで対応のほうはもう動いているっていうふうになります。

○職務代理者

令和8年度の事務分掌についての質問です。1点目は、熱中症特別対策の施行が行われます。今後この熱中症特別対策に対応される担当はどこになりますか。

2点目。コミュニティ・スクールの設置に関わって、学校だけじゃなくて、地域、保護者、市内の各課との連絡調整をしていかなければいけません。報酬の支払いは前崎指導主事と明記してありますが、このコミュニティ・スクールの担当は、どなたになりますか。

○教育監

お願いします。

まず、熱中症については、本来であれば対応のほうを担ってる指導主事になるんですが、特別対策につきましては、私と筆頭指導主事のほうで対応をさせていただくというふうになります。今後、この結果を受けて、担当の指導主事に移っていくかもしれません。取りあえず、特別対策のほう、試行のところについては私と筆頭指導主事で対応します。

もう1個はコミュニティ・スクールの支払いですか。

○職務代理者

支払いではなくて、コミュニティ・スクールを結局各学校に説明したり、企画したり、運営したりするた

めには、保護者、地域、あるいは市役所でも各課との連絡調整をしていかなければいけません。報酬については筆頭指導主事って明記してあります。「コミュニティ・スクールの計画や企画を推進する担当は明記しなくてよろしいですか。」という質問です。

○教育監

実際にやるのは私と筆頭指導主事になります。既に市民自治推進課のほうと一度話もしておりますし、自治区なども巻き込みながらやっていきたいと思っております。事務分掌、基本的に各課との関わりは自分ですので、そこはちょっと見据えてないところはあるんですが、コミュニティ・スクールについては筆頭指導主事ということで載せてありますので、筆頭指導主事中心に動いていきたいというふうに考えております。

○職務代理者

教育監という新しいポジションができました。熱中症特別対策、コミュニティ・スクールは教育監が中心にやるべきと思います。分掌としてきちっと位置づけたほうが良いと思います。

○教育監

はい、承知しました。

○教育委員

1点お願いします。前回愛される図書館、新城図書館ということでご提案がありました。本に親しむことができる環境を作ってくれて、本当にありがたいと思います。

作手地区では、新城図書館で借りてきた本を作手の交流館に返すことができまして、それもありがたいことです。以前、交流館で次に借りる人がいないのなら貸してもらえませんかと言われた方がいました。担当者は続けて貸すことはできませんと言って、貸し出しの延長を断っていました。次の借りたい人がいないのに貸し出ししてもらえず、延長を希望した人は残念そうに返していかれました。次に借りる人がいなくても、貸し出し延長はしないことになっているか確認したいです。

○生涯共育課

その辺の問題はですね、作手の交流館図書室ができた当時に、作手は作手のルールがある、新城図書館は新城図書館のルールがありますという形で、ちょっとうまくできてない時期があったようで、そういうのも聞きながら、徐々にうまくいってない部分を調整しながら、どちらでもうまくできるようにというようなことで、幾つかのことは進めさせてはもらってますけれども、たまたま今回の延長の件についてはですね、その辺がうまくかみ合っていない部分が出てしまったものですから、そこについては今回、お話は聞いてたものですから、作手で返して延長ができないことっていうことになる、利用者にとって不便だから、そういうことはお互いちゃんとシステムを共有してやってるので、うまく連携を取ってやりましょうねということで調整をして、どちらでも一応延長手続きは可能というふうにはしたんですけども、まだ昔のルールが若干残っているところがあって、それがたまにこういうように出てきて、利用者さんにはご迷惑をおかけするというようなものもあるというふうに思っております。

○教育委員

わかりました。利用者にとって使いやすい図書館だと思ってもらえることがいちばんです。今後ともよいサービスをお願いします。

○教育委員

質問してよろしいでしょうか。年間行事予定表の中の10ページのところに書かれている8月分ですけれども、給食センターまつりっていうのがまだ仮称として未定ではありますけどって書かれています。今回の給

食センターのことは本当にいろんな方たちでいろんな話合いをして行われて、実施されて、うまく回っているのではないかと思いますので、こういうお祭りなんかのときに、どんなふうにもた発信するかっていうことなどをよく考えていただいて、発信していただけるといいなと思います。

この間、とあるテレビを見たときに、新城で初めて給食センターが導入されました。そのことについてまだ意見を持ってる方がいますなんていって、その団体の方たちがこんな意見あります、こんなことありますなんていうことがあったので、そのことを今さら言っても仕方ないのに、まだこういう話をしているんだという人がいたので、そういうような方たちに向けてでも、実際にこの給食センターはこういう思いで作られてきて、今こんなふうにも順調に回っていますということをきっちり伝えられるようなお祭りなるといいなって願っておりますので、よろしくお願いします。以上です。

○学校給食課

前任の課長から引き継いだときに、市民に対するPRがまだまだ足りないんじゃないかっていうようなことを引継ぎを受けました。今、給食を作っている委託事業者のジーエスエフという会社なんですけれども、そこが社会貢献ということをすごく力入れておりまして、それにちょっと乗っかってというか、共有してもらって、まずはスモールスタートにはなりますが、先ほど教育長が言われた、親子で体験してもらって、給食を知ってもらって、調理場を開放しまして、夏休みになります現場を見てもらう。ちょっとキッズニアみたいなイメージになりますので、ちょっと調理器具、実際のもので使ってもらって、調理体験の疑似体験してもらって。そんなことを考えております。初年度になりますので、どのぐらいの程度の規模のものができるかちょっとまだ分かりませんが、まずやってみようと思っております。ご協力をお願いします。

○職務代理者

教育委員会定例会議を、給食センターでやらせていただいて、そのときに施設を見学させていただくとありがたいと思います。

○学校給食課

はい、かしこまりました。

○職務代理者

次回の教育委員会の定例会議は5月27日、水曜日に開催を予定しております。

以上をもちまして、4月新城市教育委員会の定例会議を終わります。ご苦労さまでした。

閉会 午後3時54分